

18V充電式 ディスクグラインダー

取扱説明書

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VAGBLBFS



別売品



別途
お買い求め
ください

- 充電器: UB18VCG6A
- 電池パック: UB18VBP15
UB18VBP25
UB18VBP50

もくじ

安全上のご注意	1～7
各部のなまえとはたらき	8～9
電池パック・充電器 別売品のご案内	10
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	11～14
充電器を壁に取付けて使用する	15～16
安全カバーの取付け・取外し方	17～18
サイドハンドルの取付け	18
先端工具の取付け	19～21
ご使用方法	
市販品での他先端工具の取付け・取外し方法	22～27
電池パック・充電器について	28
お手入れ・保管	29～30
故障かな?と思ったときに	31
仕様	32
修理について	33

- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

●いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※表記内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。

※お守りいただく内容は下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

 警告	
 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●可燃性の液体ガスのある場所で使用したり充電したりしないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
 実行	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認してください。 ※埋設物に触れると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤーマフ）などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがをするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
	●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリーなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業員以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときは使用しないでください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとらせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本体や充電器から外した状態の電池パックは必ず電池パックカバーを取付けてください。
※取付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチ OFF を確認してください。
※スイッチ ON のままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けしないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度 50℃ 以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないで下さい。
- 電池パックが使用中、使用後熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

❗ 実行

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液モシた電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。
すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約 20 分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

●コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしないでください。

※タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

●電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。

●きず・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。

※傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。

●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

●本体及び充電器の通気口を塞がないでください。

※火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

●本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。

●作業直後は、先端工具（ビット、チップソー等）やネジ・切りくず・電子端子に触れないでください。

※高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。

●改造や分解をしないでください。

※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

●雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。

※感電や発煙のおそれがあります。

●濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。

※感電のおそれがあります。

●使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

●本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。

※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。

🚫 禁止

●電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。

※差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。

●電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。

※プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●指定の付属品を利用してください。

※守らないとけがをするおそれがあります。

❗ 実行

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0mm²×長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の効率でご使用いただけます。
※守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機を50℃以上になる場所に保管しないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※けがや事故のおそれがあります。

⚠ 警告

！ 実行

- ホイールカバーは必ず取付けて使用してください。
※ 砥石や、ダイヤモンドカッターが破損したとき、けがの原因になります。
- 使用するオフセット砥石は、最高使用周速度：72m/s (4,300m/min) 以上の正規の砥石を取付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
※ 正規以外の砥石を使用したり、または側面や上面で研削すると、砥石が破損し、けがの原因になります。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
※ 異常があると砥石が破損しけがの原因になります。
- 使用中は、本機を確実に保持してください。特に始動時は気を付けてください。サイドハンドルを付属している場合は、しっかり取付けてください。
- 水、研削液などは使用しないでください。
- 上向きにして使用しないでください。
- 切断砥石以外のもので切断作業はしないでください。
- 使用中、本機の調子悪化、異常音が発生したときは、直ちにスイッチを切り作業を中止し、電池パックを外して、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼ください。
- 本機を作動させたまま、床などに放置しないでください。
- 誤って落としたり、衝撃が加わったときは、砥石や本機などの破損や変形、亀裂などの異常がないか確認してください。
- 「事業者の方へ」砥石の取替、試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
- 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
※ 火災や火傷の原因となります。
- 切断砥石、ダイヤモンドカッターで作業を行う際は、ジグザグ切断・曲線切り・斜め切り・コジリ・側面使用を絶対にしないでください。
※ 切断砥石、ダイヤモンドカッターが破損したり、キックバックが発生するなど、けがの原因になります。

充電式ディスクグラインダーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

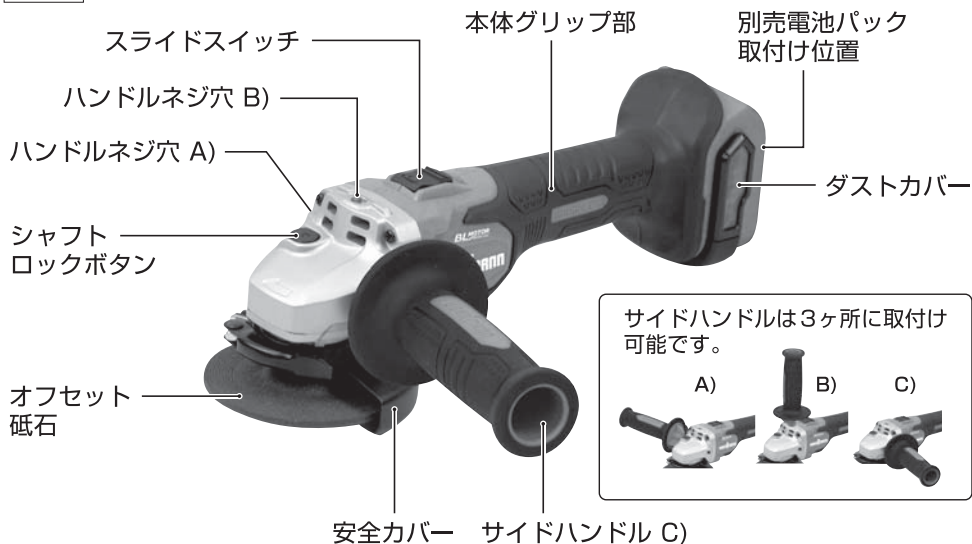
注意

実行

- 砥石、付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- 新しい砥石と取付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
- 用途以外の刃物（丸鋸刃、チップソーなど）での作業はしないでください。
- 高所作業するときは、下に人が居ないことをよく確認してから行ってください。
- 試運転を実行してから、作業を行ってください。
- 軍手などの布製の手袋は使用しないでください。
※切削火花で引火して火傷のおそれがあります。

各部のなまえとはたらき

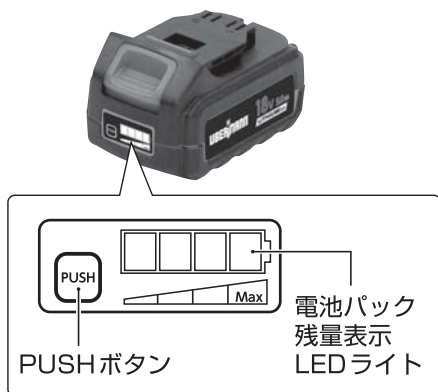
本体 UB18VAGBLBFS



●専用電池パック・専用充電器は別売品です。販売店にてお買い求めください。

別売品：電池パック (P-10 参照)

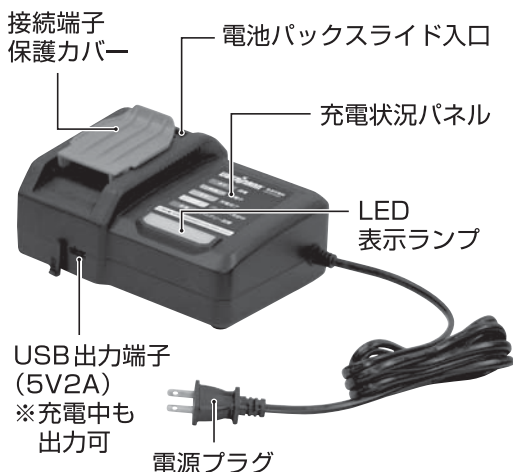
【UB18VBP15】
【UB18VBP25】
【UB18VBP50】



- 電池パックは全て残量表示LEDライト付
- PUSH ボタンで電池電圧が一目で分かる機能付

別売品：専用充電器

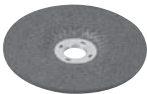
【UB18VCG6A】



- 充電器は電池パックの充電と同時にUSB出力端子使用可
- USB出力端子5V2A仕様
- 大型表示LED・充電開始：満充電電子音機能搭載

各部のなまえとはたらき

本体【18VAGBLBFS】 付属品・別売品品番

商品名	付属品数	別売品・品番
本体 	セット品 1 個	別売品有 UB18VAGBLBFS
安全カバー (ワンタッチ式) 	セット品 1 個	別売品有 UB18VAG-PSF1
ダストカバー 	セット品 左右各 1 個	別売品有 (2枚セット) UB18VAG-PDK2
ロックナットレンチ 	セット品 1 個	別売品有 UB18VAG-POW1
ゴム付 インナーフランジ 	セット品 1 個	別売品有 UB18VAG-PIF1
ロックナット 	セット品 1 個	別売品有 UB18VAG-PRN1
オフセット砥石 	セット品 1 枚	別売品有 UB18VAG-OST6 サイズ: 外形 100×内径 15×厚さ 3~6mm
サイドハンドル 	セット品 1 個	別売品有 UB18VAG-PSH1
取扱説明書	セット品 1 冊	

電池パック・充電器 別売品のご案内

UBERMANNシリーズ 電池パック

- 電池パック 品番：UB18VBP15 (容量 1.5Ah)
- 電池パック 品番：UB18VBP25 (容量 2.5Ah)
- 電池パック 品番：UB18VBP50 (容量 5.0Ah)



UBERMANNシリーズ 専用充電器

- 急速充電器 品番：UB18VCG6A
 ※本機単品セット【UB18VAGBLBFS】には**充電器及び電池パックは含まれておりません**ので、予めご了承ください。
- 本機を作動されるときは、上記いずれかの**電池パック及び専用充電器**をお買い求めいただきご使用ください。



お知らせ

- 本機UB18VAGBLBFSには、別売品電池パックがご使用できますが、別売の充電器での充電時間が異なりますのでご承知ください。

充電器UB18VCG6A	電池パック	充電時間(約) 使用後冷ました電池パック	UBシリーズ
//	UB18VBP15	約30分	18V全種 使用可能
//	UB18VBP25	約35分	
//	UB18VBP50	約70分	

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電器充電表示ライトの見かた 【UB18VCG6A】

ライト表示	表示内容	参照
赤 赤点灯	通電状態 赤 点灯（電源に差し込んだ状態です） 通電表示。	P.13
緑 緑点滅	充電開始時 緑 点滅 電池パックを差し込むと『ピッピッピッ』と電子ブザーが鳴り、冷却用ファンが始動します。 通常充電。 充 電 中 緑 点滅	
緑 緑点灯	充電完了 緑 点灯 電子ブザーが『ピッピッピッ』と鳴る。 緑点灯の充電完了（目安）時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約70分、UB18VBP25=約35分、UB18VBP15=約30分	
黄 黄点灯	冷 却 中 黄 点灯 ①電池パックが高温です。 冷却後自動的に充電開始。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。	
（異常時のライト表示及び表示内容）		
赤 赤点滅	電池故障の場合 赤 点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

冷却用自動ファンについて

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。
- 電池/パック自体温度が氷点下にあるときは、充電器に差し込むと冷却ファンも同時に作動しますので、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電を行ってください。

電子ブザーの鳴るタイミング

- 電池/パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に [ピッピッピッ] と約4秒間鳴ります。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯になります。同時に電子ブザーの [ピッピッピッ] の音が約4秒鳴ります。

充電の前に

- 充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。（充電する場所との温度差が15℃以内が良い。）
- 電池パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間（1時間以上）放置してから充電してください。（電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため）

！ 実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

冷却システムについて

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点灯し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がしない場合があります、「黄」のライトが点灯していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
※頻繁に「黄」のライトが点灯するようときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているため、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了同時には止まりませんが故障ではありません。



①充電器本体



②冷却ファンの通気口
(充電器の裏側)



③電池パックの通気口
(電池パック上部)

電池パック残量表示LEDライトの見かた

【UB18VBP15】 【UB18VBP25】
【UB18VBP50】

- 電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯	50%～75%	作業可
点灯	25%～50%	充電をしてください
点滅	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。

⚠ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

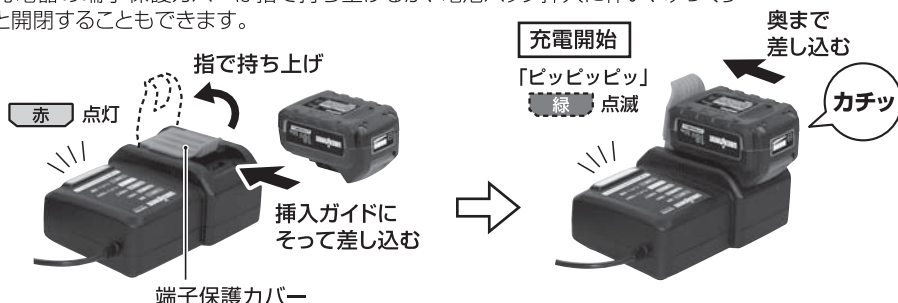
ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子保護カバーは指で持ち上げるか、電池パック挿入に伴い、ゆっくりと開閉することもできます。



- 3 ①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、「ビッピッピ」充電開始電子ブザーが短時間流れ、充電を開始します。
②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。
※充電時間は周囲温度(10℃～40℃)や電池パックの状態(新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど)により変動します。
③充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。
④電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ライト

①  + ビッピッピ...
緑点滅 数秒

②  + ビッピッピ...
緑点灯 数秒



ご使用前の準備 電池パックを充電する

USB 電源端子への接続

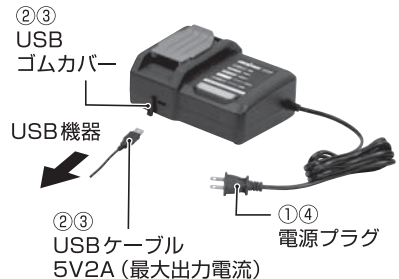
⚠ 注意

- 本機充電器は、様々なUSB機器の外部電源としても使用することができます。
(最大出力電流は5V2A)
次の注意事項をお読みの上、正しくお使いください。

- 本機充電器は、専用電池パックを充電しながらでも、USB電源の利用が可能です。
- 万一の場合に備えて、ご使用になるUSB機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
※接続したUSB機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。
- USB機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 5V2Aを超える出力電流を必要とするUSB機器は、充電器に接続しないでください。
USB電源端子の最大出力電流は、5V2Aです。
※使用接続機器や本機故障の原因になるおそれがあります。
- 充電器との接続には、USB機器付属のUSBケーブルをご使用ください。【市販品をお買い求めください。】
- 使用後は充電器正面のUSBゴムカバーを戻してください。
※USBゴムカバーが開いていると充電器内部に水滴やホコリが侵入し、充電器の故障につながります。

【使用手順】

- ① 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 本体正面のカバーをはずして、USBケーブルでUSB機器と充電器を接続してください。【市販品】
- ③ 使用後は、USB機器、USBケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
- ④ 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

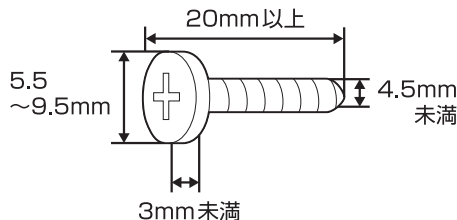
⚠ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取るときに充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかり固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

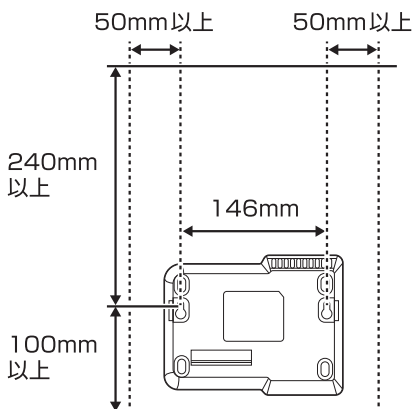
1) 用意するもの(市販品でご用意ください)

- ①木ネジ(吊り下げ用) 4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ(充電器固定ネジ) 4mm×30mm以上

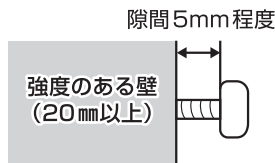


2) 吊り下げ用ネジの取付け

- ①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



- ②充電器の他電池パックを差し込んでもネジが抜けない強度のある壁面に取付けてください。



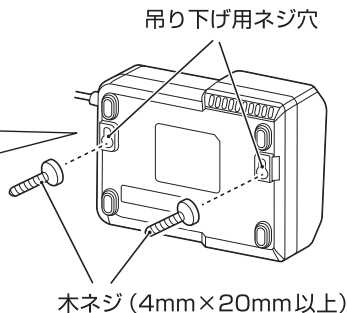
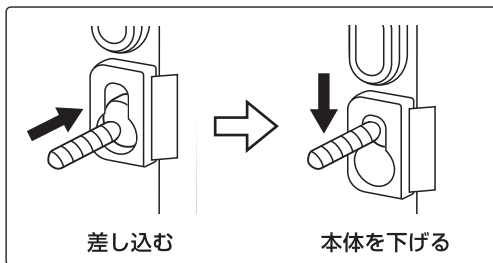
ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

3) 充電器の取付け

吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ

※壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。

【充電器裏側】



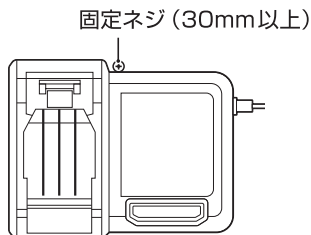
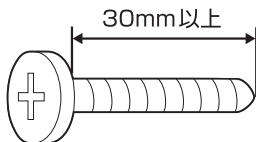
4) 充電器を固定する

充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。

※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)

使用例 4mm×30mm以上ネジ

【充電器表側】



5) 充電器の日常点検

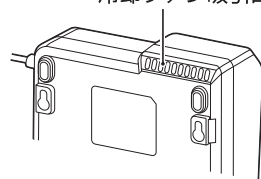
①日頃から安全に効率よくお使いいただくために日常定期点検を行ってください。

②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。

柔らかいブラシでまたはエアダスターなどを使用して清掃してください。

③冷却ファン吸引口は常にゴミやホコリを避けて使用してください。

冷却ファン吸引口



6) 保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

ご使用前の準備 安全カバーの取付け・取外し方

⚠ 警告

安全カバーの取付け・取外しの際は、必ず電池パックを取付けて無いことを確認し、さらにスイッチを切り作業を行ってください。

※本機が作動してけがのおそれがあります。

1 取付けの手順

ご使用の際は必ず安全カバーを取付けてください。

※事故やけがのおそれがあります。

- ①必ず電池パックが取付けて無いことを確認してください。

※事故やけがのおそれがあります。



- ②付属品の安全カバーのレバーを開いてください。

●先端パーツはまだ取付けないでください。

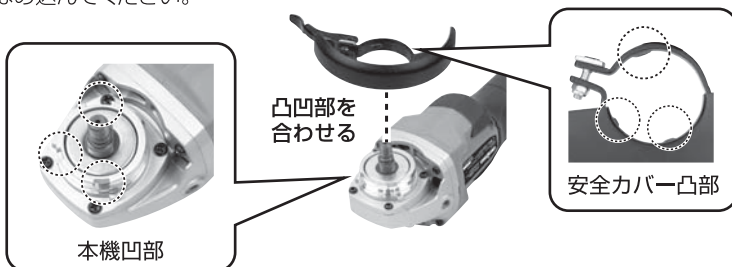
※安全カバーを設置できません。



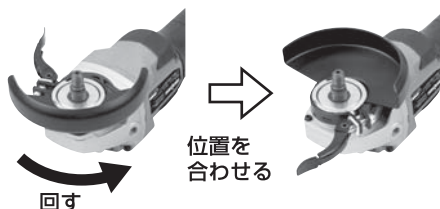
- ③サイドハンドル取付けてある場合は、取外してください。



- ④安全カバー部の凸部と本機ベアリングカバーの凹部を合わせ、はめ込んでください。



- ⑤安全カバーを任意の位置まで回してください。



ご使用前の準備 安全カバーの取付け・取外し方

⑥②で開いたレバーを確実に閉じて固定してください。

- 出荷時設定してありますが、万が一レバーを倒しても安全カバーが固定されない場合は、ナットを締めて調整してください。

※作業中に緩んでけがのおそれがあります。

安全カバー
のレバー



固定する

2 取外しの手順

- ④安全カバーのレバーを開きます。
- ⑤レバーを開いたまま取付けの位置まで回します。(P17④参照)
- ⑥共に凹凸部が合うところで安全カバーを取外してください。

ご使用の際は必ず安全カバーを取付けてください。

※事故やけがのおそれがあります。

ご使用前の準備 サイドハンドルの取付け

⚠ 警告

サイドハンドル取付け・取外しの際は、必ず電池パックを外し、スイッチも切ってください。
※不意に作動したりして、事故やけがの原因になります。

本機サイドグリップ取付け位置が3カ所あります。

◎作業によって取付け位置をお選びください。

- しっかりと回して取付けをしてご使用ください。

※作業中に緩むとけがの原因になります。

A) 図は本機アルミヘッド上部のネジ穴に入れます。

A) 図

B) 図は本機アルミヘッド右側のネジ穴に入れます。

B) 図

C) 図は本機アルミヘッド左側のネジ穴に入れます。

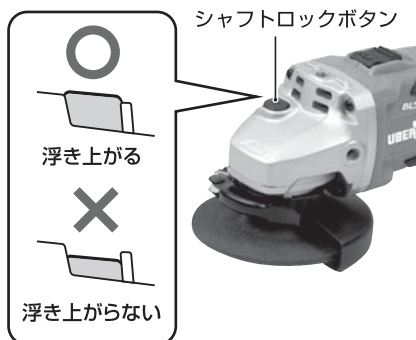
C) 図



ご使用前の準備 先端工具の取付け

1 シャフトロックボタンについて

- 1) 回転しているときは、絶対にシャフトボタンを押さないこと。
- 2) 先端パーツを取付けた後に、必ずシャフトロックボタンが正常に浮き上がっている（ロックが解除されている）ことを確認してから、スイッチをいれてください。
 - シャフトロックボタンが浮き上がっていない状態（ロックが解除されていない）で回転すると故障の原因になります。



2 オフセット砥石の取外し

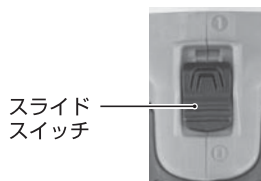
取外しの場合は、取付けの逆の手順で行ってください。

3 スwitchの操作（スライドスイッチ搭載）

⚠ 警告

本機に電池パックを差し込む前には、必ずスイッチが切れていることを確認してください。

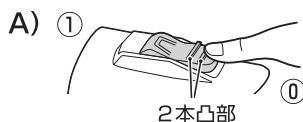
※スイッチを入れたまま電池パックを差し込むと事故の原因になります。



①スイッチはスライドスイッチを採用しています。

②スイッチを入れる（ON）①から①へ移動

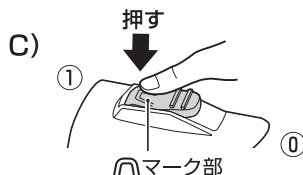
A) ①上の2本凸部を指で軽く押しながら



B) ①の方へ軽く押し上げてください。



C) カチッと音がしたら  マーク部を指先で押し込むように押してください。

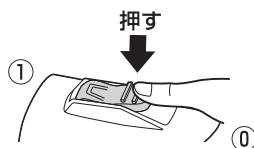


D) 黒色のスイッチが指を離しても元の①に戻らなければ連続作業状態です。

● 指を離してスイッチが戻るようでしたらC)をやり直してください。

③スイッチを切る。（OFF）①から①へ

スライドスイッチの2本凸部を軽く指で押すと①の方にスライドしてスイッチは切れます。



ご使用前の準備 先端工具の取付け

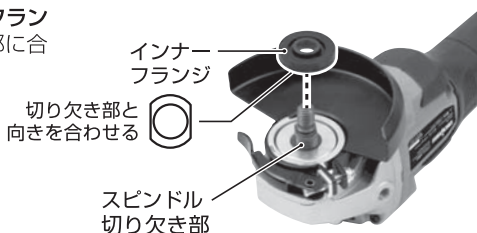
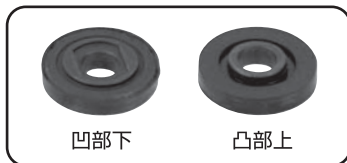
4 オフセット砥石の取付け



警告

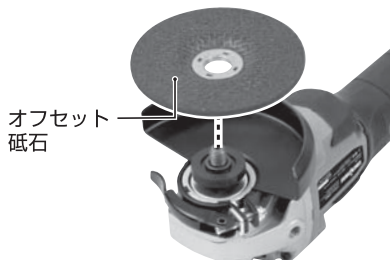
オフセット砥石の取付け・取外しは、必ず電池パックを外し、スイッチを切ってください。
※不意に作動して、事故やけがの原因になります。

- ①本機先端スピンドルを上に向け、**インナーフランジの凹部を下にして**スピンドルの切り欠き部に合わせはめ込んでください。

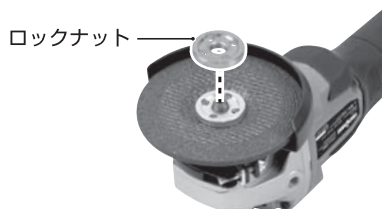
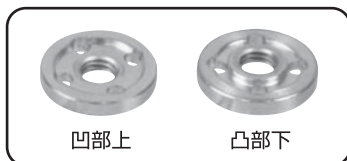


- ②インナーフランジの上にオフセット砥石を載せてください。

※市販品の砥石・切断砥石・ダイヤモンドカッターなども。

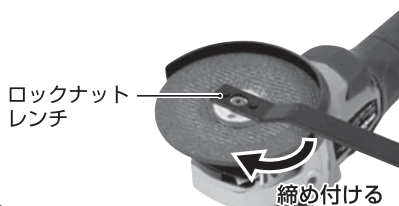


- ③ロックナットの凸部を下にしてスピンドルネジにはめ込みロックナットを専用レンチに締め込んでください。3mm以下の砥石の場合はロックナット凸部を上にして締め込んでください。

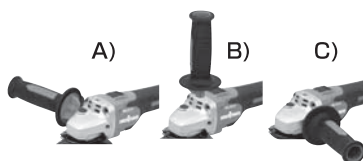


- ④ロックナットレンチで締め付けるときは必ずシャフトロックボタンを押しながら、ロックした状態で締め付けてください。

※1回転で3ヶ所ロックされる場所があります。



- ⑤サイドハンドル
用途作業によって取付け位置をお選びください。



ご使用前の準備 先端工具の取付け

5 研削方法

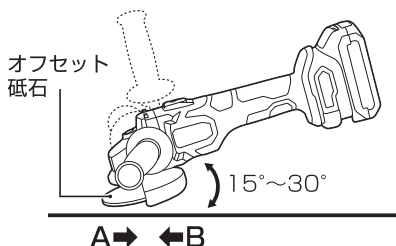
⚠ 注意

- 使用後はスイッチを切って、オフセット砥石の回転が完全に止まるまで待ってから本機を置いてください。
※ 砥石が不意にぶつかって事故やけがのおそれがあります。
- 置く場所も切断層・切削切粉・ゴミの多い場所に置くと危険です。
※ ゴミを吸い込んだり、巻き上がったりがおそれがあります。
- 本機で満充電電池パックを消費した後、予備電池パックで連続作業する場合は、本機を最低でも20分以上冷ましてから作業を行ってください。
※ 故障の原因になります。

① 本機回転部が加工材などに接触しない位置でスイッチを入れ、本機の回転が完全に上昇したことを確認して作業を行ってください。

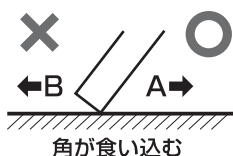
② オフセット砥石は加工材には強く押し付けしないでください。

③ オフセット砥石は加工面に対して $15^{\circ} \sim 30^{\circ}$ 程度傾けて、砥石の外周で研削するようにご使用ください。

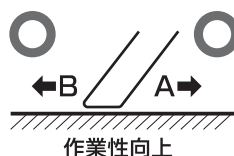


④ 新しいオフセット研削砥石は、図のように **A⇒手前方向** に引いて使用してください。
図のように **B⇒前方** に押しますと加工材料に食い込むことがあります。オフセット研削砥石が摩耗ある程度摩耗し角がとれましたら、どちらの方向にも進めやすく作業ができます。

〔新しい
オフセット砥石〕



〔角がとれた
オフセット砥石〕



ご使用方法 市販品での他先端工具の取付け・取外し方法

1 ダイヤモンドカッターの取付け・取外し方

⚠ 警告

●ダイヤモンドカッターや市販品先端工具などの取付け、取外しの際は必ずスイッチを切って電池パックを抜いた状態で行ってください。

※不意に回転して、事故の原因になります。

ダイヤモンドカッターの取付け・取外し方

ダイヤモンドカッターを取付けるときは、本機アルミ先端部にある回転矢印 ➡ とダイヤモンドカッターに付いている矢印の方向を合わせてください。

●回転方向が合わないと、刃先を傷め、ダイヤも飛散し切れにくくなる原因になります。



回転矢印

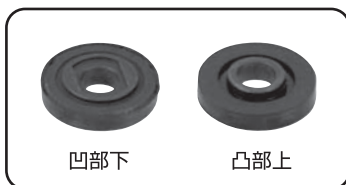
矢印の方向を
合わせる

ダイヤモンド
カッター



取付け方

- ①本機スピンドルを上向きにして、インナーフランジの凸部を上にして、切り欠き部を下にしてはめ込んでください。
インナーフランジを指でつまんで軽く回すとカチッと合います。



- ②本機の回転矢印とダイヤモンドカッターの矢印をあわせてください。
※必ず確認してください。



回転矢印

ダイヤモンドカッター



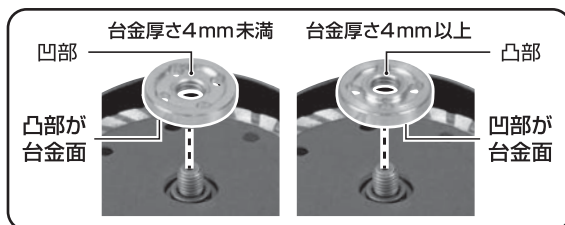
矢印の方向を合わせる



ご使用方法 市販品での他先端工具の取付け・取外し方法

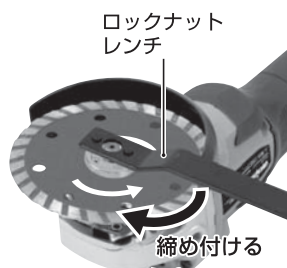
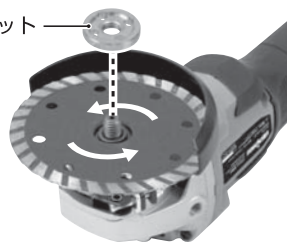
③台金厚さが4mm未満の場合は、ロックナットの凸部を上にしてスピンドルにはめ、ねじ込んでください。ロックナット

④台金厚さが4mm以上の場合は、ロックナットの凸部を下にしてスピンドルにはめ、ねじ込んでください。



●ロックナットを締め付けるときは、シャフトロックボタンを押しながら専用レンチでしっかりと締め付けてください。

※1回転で3ヶ所ロックされる場所があります。



取外し方

①スイッチを切って、電池パックを取外してください。

②取付けの逆の手順で行ってください。

警告

- 切断中に本機をこじったり強く押し付けたり、しないでください。
- モーター回転の急激に落ちるような過負荷な作業は強い反発力を生じますので、しないでください。
※けがや故障の原因になります。
- 使用後はスイッチを切って、ダイヤモンドカッターの回転が完全に止まってから本機を置いてください。
※回転が止まらないうちに置くと危険です。また切粉やゴミの多い所に置きますと、切粉やゴミを吸い込むことがありますのでご注意ください。

③作業の時はダイヤモンドカッターが材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機をしっかりと両手で保持しダイヤモンドカッターの回転が上昇し安定したら、ゆっくりと前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

※足元や地面が不安定な場所では、事故やけがのおそれがあります。

ご使用方法 市販品での他先端工具の取付け・取外し方法

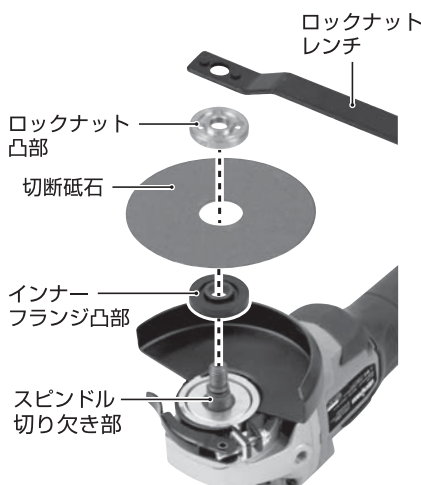
2 切断砥石の取付け・取外し方

⚠ 警告

- 切断砥石を使用する場合は必ず切断砥石用の安全カバーを取付けてください。
※ 切断砥石が破損したとき事故の原因になります。
- 切断砥石を使用する場合は、専用の安全カバーに取り替えてご使用ください。

切断砥石をご使用の場合の取付け方

- 1) 本機スピンドルを上に向け、インナーフランジの凹部をスピンドルの切り欠き部に合わせてはめ込みます。
※ 指でつまんで少し回すとカチッと合います。
- 2) 市販品お求めの切断砥石をインナーフランジの凸部にはめ込んでください。
- 3) ロックナットの凸部を上にして、スピンドル部ネジにねじ込んでください。
※ ねじ込んでいる途中で切断砥石がロックナットの凸部より外れていないことを確認してください。
- 4) 本機シャフトロックボタンを押しながら、ロックナットを専用レンチでしっかりと締め付けてください。
※ 1回転で3ヶ所ロックされる場所があります。



取外し方

- ① スイッチを切って、電池パックを取外してください。
- ② 取付けの逆の手順で行ってください。

⚠ 警告

- 切断中に本機をこじったり強く押し付けたりしないでください。
- モーター回転が急激に落ちるような過負荷な作業は強い反発力を生じますので、しないでください。
※ けがや故障の原因になります。
- 使用後はスイッチを切って、切断砥石の回転が完全に止まってから本機を置いてください。
※ 回転が止まらないうちに置くと危険です。また切粉やゴミの多い所に置きますと、切粉やゴミを吸い込むことがありますのでご注意ください。

- ③ 切断砥石が材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機を両手でしっかり保持し、切断砥石の回転が上昇し安定したら、ゆっくりと切りはじめ、切り終わるまでこの状態を保ってください。
※ 足元や地面が不安定な場所では、事故やけがのおそれがあります。

ご使用方法 市販品での他先端工具の取付け・取外し方法

3 カップワイヤーブラシ及びベベルワイヤーブラシの取付け・取外し

⚠ 警告

- 本機安全カバーを取付けてご使用ください。
- 取付け・取外しを行うときは、スイッチを切り、電池パックを本体から外した状態で行ってください。
※不意に作動して事故やけがの恐れがあります。



カップワイヤー
ブラシ



ベベルワイヤー
ブラシ

取付け方 (市販品をお買い求めください)

- ①本機付属の安全カバーを取付けてください。
- ②本機の取付けるスピンドルだけの状態にしてください。
※インナーフランジとロックナットは不要です。

- ③スピンドル部分にカップワイヤーブラシのメス凹ネジ部を当て時計回りに(右回し)市販のレンチ22mmで締め込んでください。

- ④レンチで締め込むときは、必ず本機のシャフトロックボタン押しながら、ロックされる箇所ですっかりと締め付けてください。

※1回転で3ヶ所ロックされる場所があります。

シャフト
ロックボタン



カップワイヤー
ブラシ

安全カバー
スピンドル



⚠ 注意

- 作業をする前に、取付けた後にシャフトロックボタンが正常な位置まで飛び出して、スピンドルが回転することを確認してからスイッチを入れてください。
※シャフトロックボタンが正常に浮き上がっていないと、故障の原因になりますのでご注意ください。

取外し方

- ①スイッチを切って、電池パックを取外してください。
- 取付け手順の逆に④・③・②で行ってください。

電池パック



取外す



ご使用方法 市販品での他先端工具の取付け・取外し方法

4 サンディングディスクペーパーの取付け方

⚠ 警告

- 本機安全カバーを取付けてご使用ください。
 - 取付け・取外しを行うときは、スイッチを切り、電池パックを本体から外した状態で行ってください。
- ※ 不意に作動して事故やけがの恐れがあります。

取付け方 (市販品をお買い求めください)

○一般市販品

- A) ラバーパット
- B) 作業目的に合わせたサンディングディスク
- C) ロックナット (付属品でも可)

※一般市販品では、③・④・⑤(下記取付け方部品参照) セット販売されている場合もあります。

○DIY用の木材やプラスチックの研磨作業に。

○金属のバリ取り作業に。

○塗装面や塗装前のさび落とし作業に。

①安全カバーを取付ける。

②インナーフランジ凸部を上向きにして、スピンドルの切り欠き部と凹部(下向き)を合わせて取付けてください。

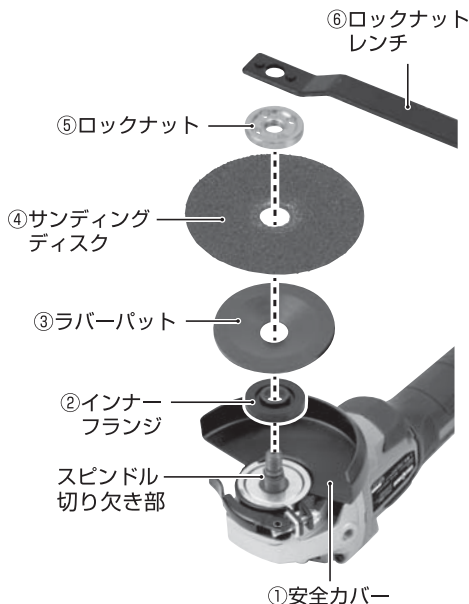
③ラバーパットを取付けてください。

④サンディングディスクを取付けてください。

⑤ロックナット(凹部上向き、凸部下向き)を専用レンチで締めてください。

⑥レンチで締め込むときは、必ず本機のシャフトロックボタンを押しながら、ロックされる箇所ですっかりと締め付けてください。

※ 1回転で3ヶ所ロックされる場所があります。



研削方法

○サンディングディスクは全面を被研磨面に当てないで本機を右図のように約15°傾けた状態で使用されるとディスクペーパーと被研磨面を効率よく作業できます。



ご使用方法 市販品での他先端工具の取付け・取外し方法

取外し方

- ①スイッチを切って、電池パックを取外してください。
- ②取付け手順の逆に⑤・④・③・②・①で行ってください。



⚠ 注意

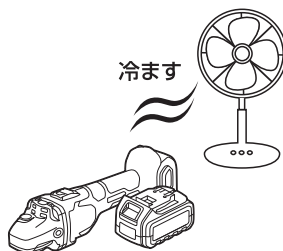
- 過負荷な長時間作業を行うと、サンディングディスクが目詰まりして削れない状況で使用され、ペーパーを押さえるラバーパットまで摩耗し寿命が早まりますのでご注意ください。
- サンディングディスクの摩耗による交換時は、ラバーパットも一緒に点検し、摩耗、亀裂、変形がない事を確認してご使用ください。

本機および電池パックの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

●本機および電池パックの温度が高くなるとモーターが自動停止します。

- ・本機が熱くもなく突然自動停止した時は、電池パックの電池残量が低下し過放電保護装置が働いて停止しますので、その場合は直ちに充電を行ってください。
- ・使用を中断して本機より電池パックを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
- ・電池パックを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- ・本機より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- ・電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。
PUSH ボタンを押す。
→ LED ライト 1 個点灯または LED ライト 1 個が点滅になります。

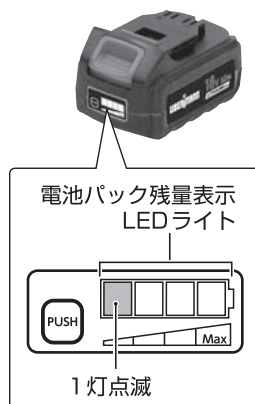
【PUSH ボタンを押すと】

●電池残量表示 LED も 1 灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。作業は中止し、直ぐに充電を行ってください。

●本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- ・いったんスイッチを放し、本機より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。



電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - 低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - 満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



お手入れ・保管

⚠ 警告

- 点検、整備の際は必ずスイッチを切り、本機より電池パックを取外してください。
※不意に作動して事故の原因になります。

本機防塵カバーの清掃

- ①本機より電池パックは取外してください。



- ②ダストカバー後部を指先で外側に開いたら、そのままつまんで後方に引っ張って抜いてください。

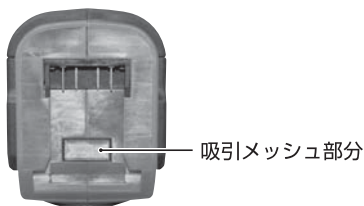


- ③本機電池パック差し込みの両側のダストカバーを外し、メッシュ部分に付着したホコリを取り除いてください。
※エアードスターかやわらかいブラシ等で除去してください。



- ④ホコリを取り除いた後は、逆の手順ではめ込んでください。
※メッシュ部分を強く拭いたり、固い角のあるもので拭かないでください。破れることがあります。(別売品有)

- ⑤本機電池パックスライド面にも吸引メッシュ部分がありますので、ホコリを取り除いてください。



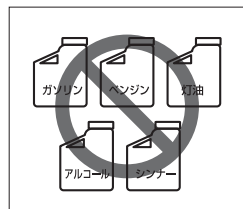
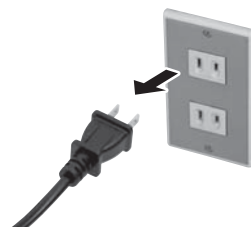
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違えて使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹸水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○充電のとき

状 態	原 因	処 理
●充電器の通電赤LEDが点灯し、ピッピッと音が鳴らない。	●コンセントに通電されていない。	●別のコンセントで試してください。
●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。	●充電器と電池パックの接続がされていない。 ●電池が高温の為に充電されない。	●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。 ●黄色LED点灯中は充電ができないので、ファンで冷却後に自動充電され、緑点滅LEDに変わります。
●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●作業後直後の熱い電池を充電した為。 ●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)

○作業のとき

状 態	原 因	処 理
●本機が動かない。	●電池パックが正常に本機に取り付けられていない。 ●電池電圧が少ない。	●電池パックを奥まで差し込んでください。 ●電池パックを充電してください。
●作動時スイッチ部分からピーと異音がある。	●連続過負荷作業によって本機が熱くなって安全装置が働いている状態。	●電池パック自体の残量表示を確認してください。
●フル充電しても作業時間が短くなった。	●モーターに過負荷等により作動しない状態。 ●電池の劣化寿命が考えられます。 ●0℃以下に保管された状態。 ●電池電圧の低下。	●本機から電池パックを外して本体と電池パックを冷ましてからお試してください。 ●別の電池でお試してください。 ●故障ではありません。
●先端工具が安全カバーに入らない。	●本機は外径100mm以上の為、外径100mm対応です。	●電池を20℃環境で1時間程度温めてください。
●異音がある。	●インナーフランジ・ロックナットの取付け間違い。	●電池残量表示で確認してください。
●先端工具が外れない。	●プッシュボタンで固定できないロックナットが砥石に食い込んでいるため。	●新品電池を別途お買い求めください。 ●本機仕様に合う先端工具を使用してください。
		●取扱説明書で確認してください。
		●市販のレンチ12mmでスピンドル軸を固定して、ロックナットレンチで緩めてください。

仕様

●ディスクグラインダー UB18VAGBLBFS

電動機	DC ブラシレスモーター
専用電池パック	専用リチウムイオンバッテリー UB18VBP15/BP25/BP50
入力電圧	DC18V
無負荷回転数 (回転/分)	8,500 回転 / 分
砥石寸法 (約)	外径 100×内径 15×厚さ 3～6mm
本機寸法 (約)	長さ 313×幅 113×高さ 128mm
質量 (約)	1.70Kg (電池パック含まず)

別売品仕様

●6A充電器 UB18VCG6A

入力電圧	単相交流 100-120V			
入力周波数	50-60Hz			
入力容量	160W			
電池パック充電端子	出力電圧	DC21V	出力電流	DC6A
	出力電圧	DC5V	出力電流	DC2A
	端子形状 USB A型			
本機寸法 (約)	長さ 179.3×幅 142.7×高さ 94.9mm			
質量 (約)	0.84Kg			

●1.5Ah 電池パック UB18VBP15

本機寸法 (約)	長さ 118.5×幅 76.4×高さ 53.5mm
質量 (約)	0.39Kg

●2.5Ah 電池パック UB18VBP25

本機寸法 (約)	長さ 118.5×幅 76.4×高さ 53.5mm
質量 (約)	0.39Kg

●5.0Ah 電池パック UB18VBP50

本機寸法 (約)	長さ 119.9×幅 76.5×高さ 68.7mm
質量 (約)	0.65Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電器UB18VCG6A	電池パック	充電時間 (約) 使用後冷ました電池パック	UBシリーズ
//	UB18VBP15	約 30分	18V全種 使用可能
//	UB18VBP25	約 45分	
//	UB18VBP50	約 70分	

修理について

警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行くと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- ◎技 術 料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- ◎部 品 代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel.025-371-4805

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

